

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 到津 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）	
①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査	
○	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

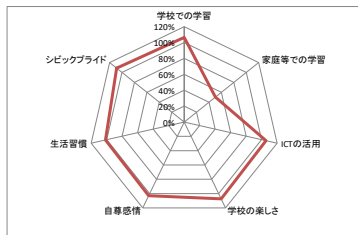
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・「書くこと」「読むこと」に関する問題の正答率が高い ・「話すこと・聞くこと」「情報の扱い方」に関する問題の正答率が低い	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくてきた問題	・「物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く」問題	
	努力が必要な問題	・「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する」問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	・「知識・技能」に関する問題の正答率が70%を超え、全国よりも上回った ・「データの活用」に関する問題の正答率が低い	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくてきた問題	・「除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している」問題、	
	努力が必要な問題	・「球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を図え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる」問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



・「学校での学習」における主体性や学習意欲に関する項目は、全国よりも上回った。
 ・「ICTの活用」に関する肯定的な回答が全国に比べて高かった。児童の意欲に大きく関わっているため、ICTを効果的に活用した授業実践に今後も取り組んでいく。
 ・「友達関係に満足しているか」「あなたのよいことを認めてくれているか」との問いに対して約94%の児童が肯定的に回答している。
 ・個別最適な学びや自主的な問題解決が、児童の積極的な学びへの影響を与えていることが考えられるため、今後も学校全体で授業改善を進め、児童が自ら課題を見付け、自分に合った学習方法を選択し、楽しいと思える授業を研究していく。
 ・「家庭学習においてICTを活用している」「学校が休みの日に、勉強をしている」と回答した割合が低かった。今後は、個に応じた指導の場面や家庭学習等でもICTを活用できるように啓発していく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

・タブレットを常日頃から筆記用具と同じように活用し、ICTを活用した学習指導の徹底を図る。
 ・毎週月、水、木の到津タイム（月は音読・読書 水はMIM・計算 木は算数文章問題）を全校一斉に実施する。
 ・主題研究でICTの効果的な活用についての研究を深め、授業改善に取り組む。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習チャレンジ週間の継続実施を行う。月1回1週間、①テレビ・動画②ゲーム③読書・学習の3項目の時間をチェックすると共に、この週のめあてを設定し、生活習慣をより健全・健康的にする取組を行う。
 ・「到津小 自主学習マイスター」の取組を行い、良い自主学習を掲示し紹介することで意欲を高める。